

・おじちゃんにコチヨコチヨ（くすぐられる）されるのが楽しくて、わざと近寄っておじちゃんの気を引こうとする子ども達。

・おじちゃんが亡くなったあとに頂いた、おじちゃんのスイカ…あの味は忘れられません。甘かった。子ども達も強く印象に残っていますね。

・おじちゃんが早番の時、赤ちゃんを膝の上に乗せレゴブロックを積み上げて遊んでいる姿。

・早番で子どもたちが登園する前に、洗濯物をたたみながら鳥取での思い出話を話してくれたこと。

・アスレチックを解体したり、お楽しみ会前に砂場・芝生の園庭にビニールシートで屋根を作ってくれたり、なんでも屋のおじちゃんだなというも思っていました。

・おじちゃんは寝る部屋にテレビを沢山置いて全部つけたまま寝るということがとても驚きました。

・光組の担任だった時、おじちゃんがお手伝いに入って下さり、泣いている子どもを抱っこして優しくあやしたり、膝の上で嬉しそうに遊ぶ子どもの笑顔とおじちゃん笑顔は今でも忘れません。

・早番の時にいつも丸柱の所で子どもを抱っこして遊んでいる姿。おじちゃんのひざは次々とみんな空き待ちでした。

・お昼寝がいやで泣いている子を、色々はなしながら手をつないでお散歩してくれていました。

・おじちゃんにベッタリだった赤ちゃんが、成長し、おじちゃんベッタリく離れていく子ども達に「もう卒業だなあ」と少し寂しそう

な笑顔。でも次の日には、もう違う赤ちゃんがベッタリ…人気者でした。

・土曜出勤の朝、必ず「苦勞さん」と顔をだし「ちよつと出てくるんで」と車のカギをもつてニコニコ…「どこに行くの？」と聞く。「ちよつとそこまで…」と嬉しそうに出かけていくおじちゃん。今でもその後ろ姿、思い出します。

・小羊クリスマス前になると、おじちゃん手作りのイルミネーションを飾って下さり、子ども達が喜ぶ姿を嬉しそうに見つめていた姿。

・乗り物は苦手と言っていたおじちゃんですが、車を運転し「ちよつとそこまでいつてきたよ」と鳥取まで行ったことを楽しそうに話してくれた姿。

・餅つきで使う大きな臼を、一人で軽々と転がして運び出す姿。感謝でした。

・泣いている子を優しく受けとめ抱っこしている姿や、子どもを膝の上に座らせて静かに見守っている姿。

・いろいろの仕事をしてきた話、楽しそうに話して聞かせてくれました。

・朝、泣いている子がいれば膝にのせて絵本を読む姿。膝が2つ2人の子どもをのせれ、ホラホラ…とあやしたり、その子の心境をきく。後ろにいつもいて、見守ってくれている姿が印象。

・職員会の時にうた…讚美…誰だ〜という声の高さ、オンチの声!! 今でもしっかりと記憶しているよ。

・早番で登園し、おじちゃんだったら泣きやむ（最初に受けるのにあたり